

若年者ものづくり競技大会

8職種、県代表健闘誓う

秋田市 認定証手渡し壮行会

「第14回若年者ものづくり競技大会」(31日、8月1日・福岡県)に出場する本県代表の壮行会が5日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で開かれた。8職種12人が大会での健闘を誓った。

県職業能力開発協会の佐藤賢一郎会長が「日本が経済成長を成し遂げた原動力は、ものづくりの技能と勤勉性。若者の人材育成は今後の日本を支える上で最も重要な課題の

一つだ」とあいさつ。選手一人一人に県代表の認定証を手渡した。

登壇した選手はそれぞれ「練習の成果を発揮して悔いの残らない大会にしたい」「自信を持って本番に臨みたい」などと抱負を述べた。

大会は20歳以下が対象。職業能力開発施設や専門学校などでもものづくりの技術習得に励む若者が腕を競う。2005年から開催されており、本

選手が大会での健闘を誓った壮行会



県は13年から参加している。今年は今国から15職種に約450人が出場する。

(間杉大旗)